

## 子猫の飼い方



### 子猫の習性

子猫は1日18~20時間も寝ます。朝方や夕方から夜にかけて活発になります。動くものをみると飛びつきます。抱っこは好きな子も嫌いな子もいますが、身体のいろいろなところに触れて、触れられることに慣らしておく、爪切りなどにも困りません。

ただし、はじめておうちに行った日は、緊張しています。あまり触ったりせず、ゆっくり寝させてあげてください。ケージなどにタオルをかけて、安心できる空間を作ってください。潰さないよう一緒の布団に寝るのは十分大きくなってから

### 事前準備

餌※、餌皿（浅めのもの）、新鮮な水皿、トイレ※ 猫砂※  
 キャリー※、ケージ（必要に応じ）  
 爪切（ハサミタイプがオススメ）、爪とぎ（様々なタイプがあります）、おもちゃ

### トイレ

部屋のすみなどで臭いを嗅ぐ動作や床を掘る動作はトイレのサイン。トイレに連れていきましょう。すぐに覚えてくれます。トイレは身体がすっぽり入るのが好き。子猫のうちは、浅めのケースでもよいですが、大きくなったら体の大きさに合わせて変えてあげましょう（体長の1.5倍）。フード付きトイレや、システムトイレは猫の好みがわかるようです。砂は細かめのものを好む猫が多いです。猫はきれい好き。汚れたらこまめに掃除しましょう。粗相の跡には臭いを頼りに再度してしまいます。消毒等で臭いを残さない工夫が大切です。

### 餌

センターからお譲りする猫は、離乳済ですのでミルクは不要です。ドライフード（子猫用）を与えてください。「総合栄養食」と書いてある製品を選びましょう。子猫のうちは1日3回~4回に分けて与える必要があります。ウェットフードやペースト状のおやつを好きな猫は多いですが基本はドライフード。夏場も腐敗の心配がありません。人間の食べ物は与えないようにしましょう。

### 不妊手術

猫は生後約4か月で繁殖可能です。必ず不妊手術をしましょう。ワクチン接種などの際に、動物病院で手術について相談しておくとい良いでしょう。特に未手術の雄雌の子猫と一緒に飼う場合は、早めに相談しましょう。雄はマーキングを開始しない時期に手術をすませると飼いやすくなります。手術の際に麻酔下でマイクロチップを挿入しておくとい安心です。（マイクロチップには飼い主情報が登録できます）

### キャリー

猫を安全に運ぶにはキャリーが必要です。通院にも必須のアイテム。タイプ：△横開き、△上開き、◎上横両用  
 素材：◎樹脂(ハード)、×ナイロン(ソフト)  
 上横両方開くタイプは病気の時にも助かります。ソフトタイプはファスナーが開かないよう注意を。ハードタイプなら扉を外してお部屋に置いて、馴れさせるのがオススメです。

### お留守番

いたずら盛りのお留守番にはケージがあると安心です。1泊程度ならお留守番をしても大丈夫。温度管理には注意をしましょう。

### 逃げちゃったら

万が一逃がしてしまったら、必ず見つかるまで探してください。最寄りの警察署と千葉県動物保護指導センター（043-258-7817）にご連絡を。万が一に備えマイクロチップの挿入や連絡先を書いた首輪をつけましょう。